

株式会社テラプローブ 決算説明資料

2021年12月期 第2四半期

2021年12月期 第2四半期

業績説明

本資料では、増減率について、1,000%を超える場合や、比較対象の一方もしくは両方がマイナスの場合、原則として「-」と表示しています。

2021年12月期 第2四半期 業績サマリー

	CY2021		QoQ		CY2020		YoY		
	億円	1Q	2Q	増減	%	2Q累計	2Q累計	増減	%
売上高		54.9	63.2	8.3	15%	91.8	118.1	26.3	29%
営業利益		5.8	10.2	4.4	76%	3.2	16.0	12.8	399%
		10.6%	16.2%	5.6pt	-	3.5%	13.6%	10.1pt	-
経常利益		5.3	9.9	4.7	88%	2.5	15.2	12.7	503%
		9.6%	15.7%	6.1pt	-	2.7%	12.8%	10.1pt	-
特別利益		2.0	1.5	△ 0.4	△23%	4.5	3.5	△ 1.1	△23%
特別損失		0.3	0.5	0.2	61%	0.1	0.7	0.6	555%
税金等調整前純損益		6.9	11.0	4.0	58%	6.9	17.9	11.0	159%
親会社株主に帰属する 四半期純利益		2.8	4.8	2.0	73%	2.8	7.6	4.8	169%
	US\$	104.26	108.97			108.53	106.67		
	NT\$	3.78	3.85			3.61	3.85		

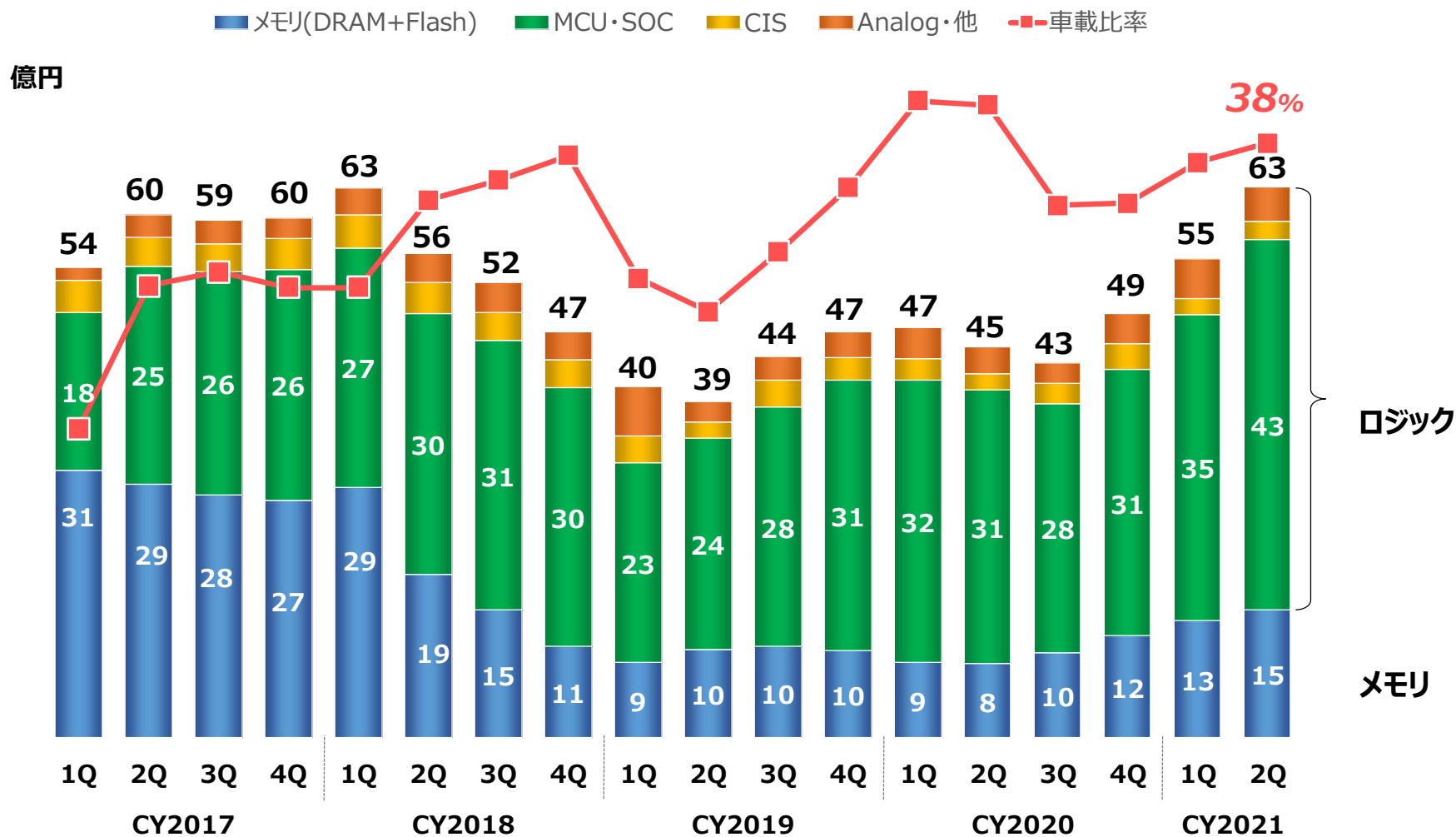
○ 売上高：車載向けロジック製品の稼働回復と追加投資分寄与、ディスプレイコントローラの増加等、全体として堅調に推移

○ 営業利益、経常利益、純利益：
売上高の増加に伴い、いずれも増加

○ 売上高、営業利益、経常利益、純利益とも増加
(車載向け等ロジック製品の受託増加、PTI※からの事業譲受分寄与)

※ Powertech Technology Inc.

連結売上高推移（製品別）



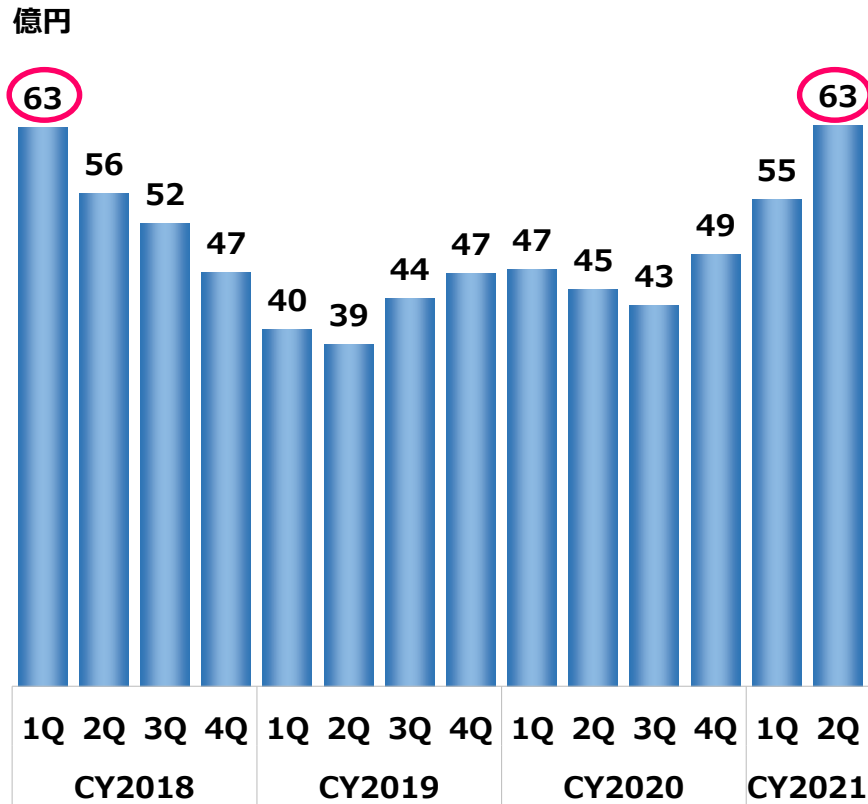
テラプローブ会津
子会社化

事業譲渡

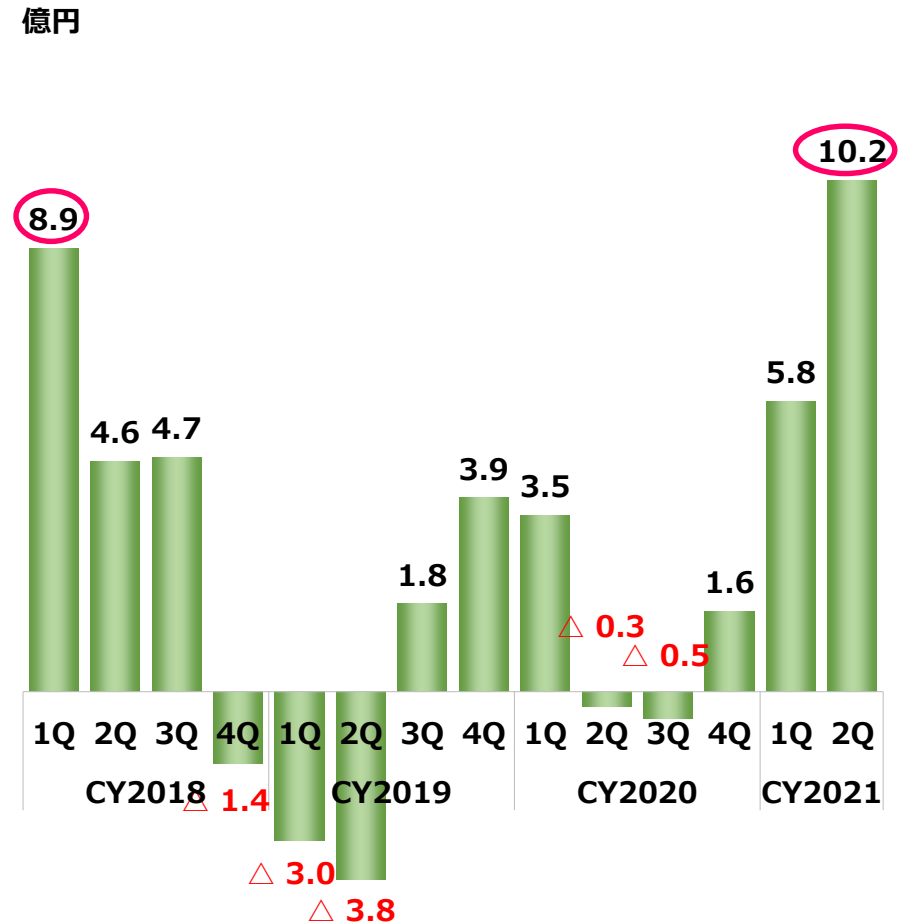
車載向けロジックを
中心に増加

連結売上高営業利益の推移

売上高



営業利益



2021年12月期 第2四半期 キャッシュフロー 財政状態

キャッシュフロー

	億円	CY2021	CY2021	QoQ		CY2020	CY2021	YoY	
		1~3月	4~6月	増減	%	1~6月	1~6月	増減	%
営業CF		25	25	1	3%	49	50	1	1%
投資CF		△ 16	△ 14	3	-	△ 39	△ 30	9	-
FCF		8	11	3	41%	10	20	10	94%
財務CF		△ 10	△ 4	6	-	1	△ 13	△ 15	-

主要B/S項目

	億円	CY2021	CY2021	QoQ		CY2020	CY2021	YoY	
		3月	6月	増減	%	6月	6月	増減	%
現預金		112	119	8	7%	112	119	7	7%
有形固定資産		377	371	△ 6	△ 2%	394	371	△ 23	△ 6%
総資産		563	575	12	2%	575	575	△ 1	△ 0%
有利子負債*		193	193	0	0%	223	193	△ 31	△ 14%
純資産		324	336	12	4%	308	336	28	9%

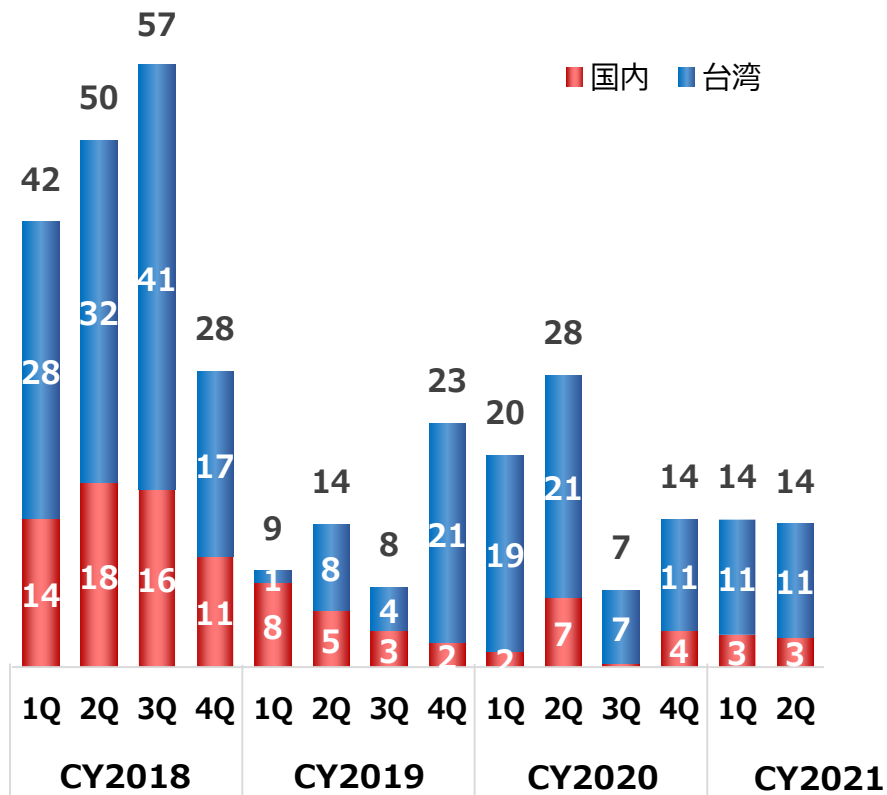
*有利子負債 = 借入金 + リース債務

○ FCFプラスを継続。また、前四半期末と同水準の現預金を維持

設備投資及び減価償却

設備投資

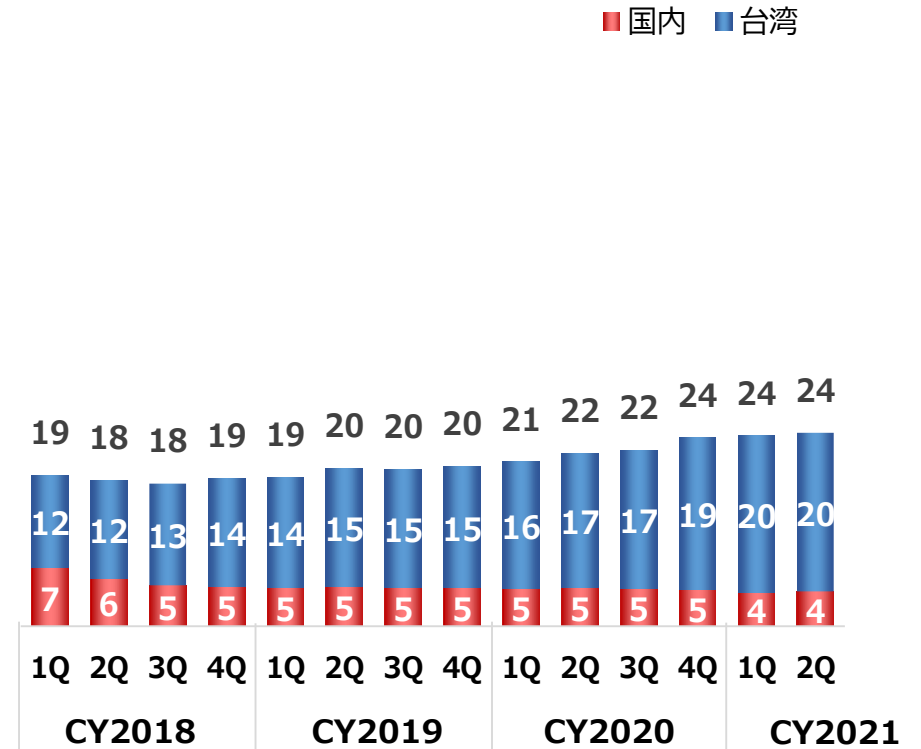
億円



- 需要見込みに対応した投資を継続
- 償却負担は横ばい

減価償却

億円



2021年12月期 第3四半期

業績予想

本資料では、増減率について、1,000%を超える場合や、比較対象の一方もしくは両方がマイナスの場合、原則として「-」と表示しています。

2021年12月期 第3四半期 業績予想

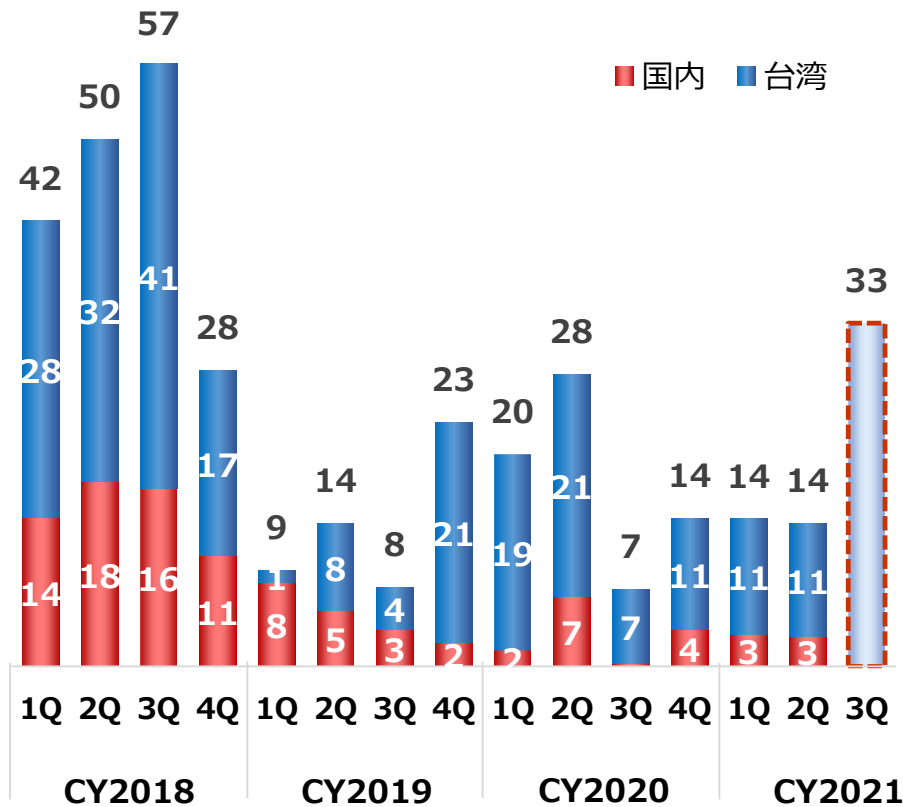
	CY2021		QoQ		CY2020		YoY		
	億円	2Q	3Q	増減	%	3Q累計	3Q累計	増減	%
売上高		63.2	64.9	1.7	3%	134.7	183.0	48.3	36%
営業利益		10.2	11.0	0.7	7%	2.7	27.0	24.3	908%
		16.2%	16.9%	0.7pt	-	2.0%	14.8%	12.8pt	-
経常利益		9.9	10.6	0.7	7%	0.9	25.8	24.9	-
		15.7%	16.4%	0.7pt	-	0.7%	14.1%	13.4pt	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益		4.8	4.4	△ 0.5	△10%	1.2	12.0	10.8	916%
	US\$	108.97	109.48			107.94	107.63		
	NT\$	3.85	3.85			3.61	3.85		

- 売上高：車載向けLogic製品が引き続き堅調な需要を維持
- 営業利益、経常利益：売上高の増加に伴い、いずれも増加
- 純利益：固定資産売却益や、過年度法人税等戻入の影響がなくなるため減少

設備投資及び減価償却

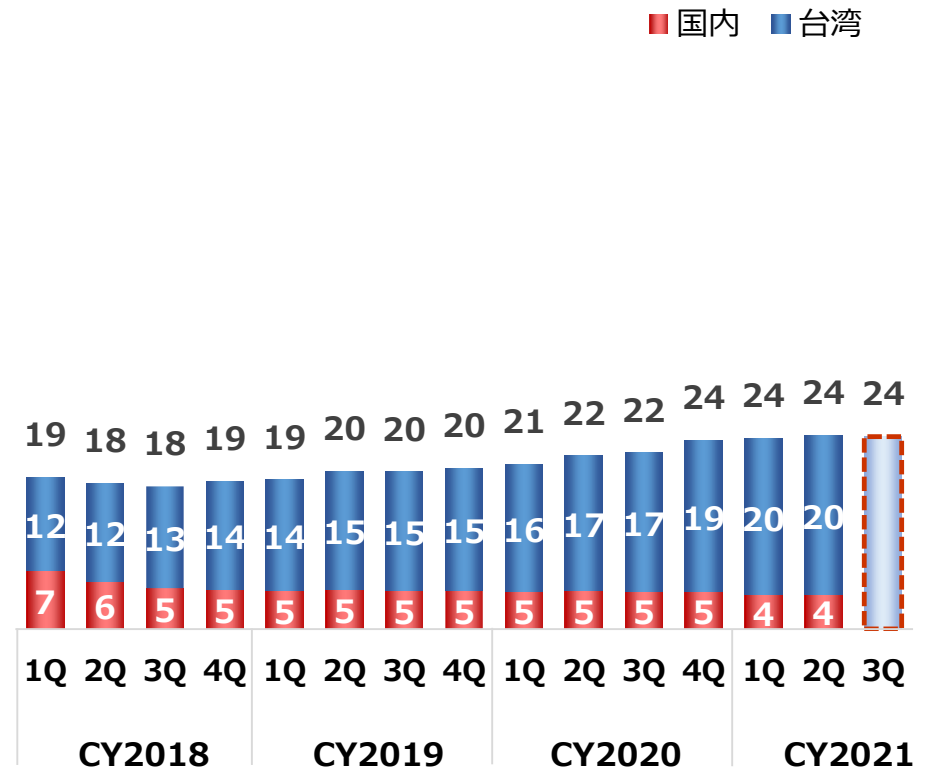
設備投資

億円



減価償却

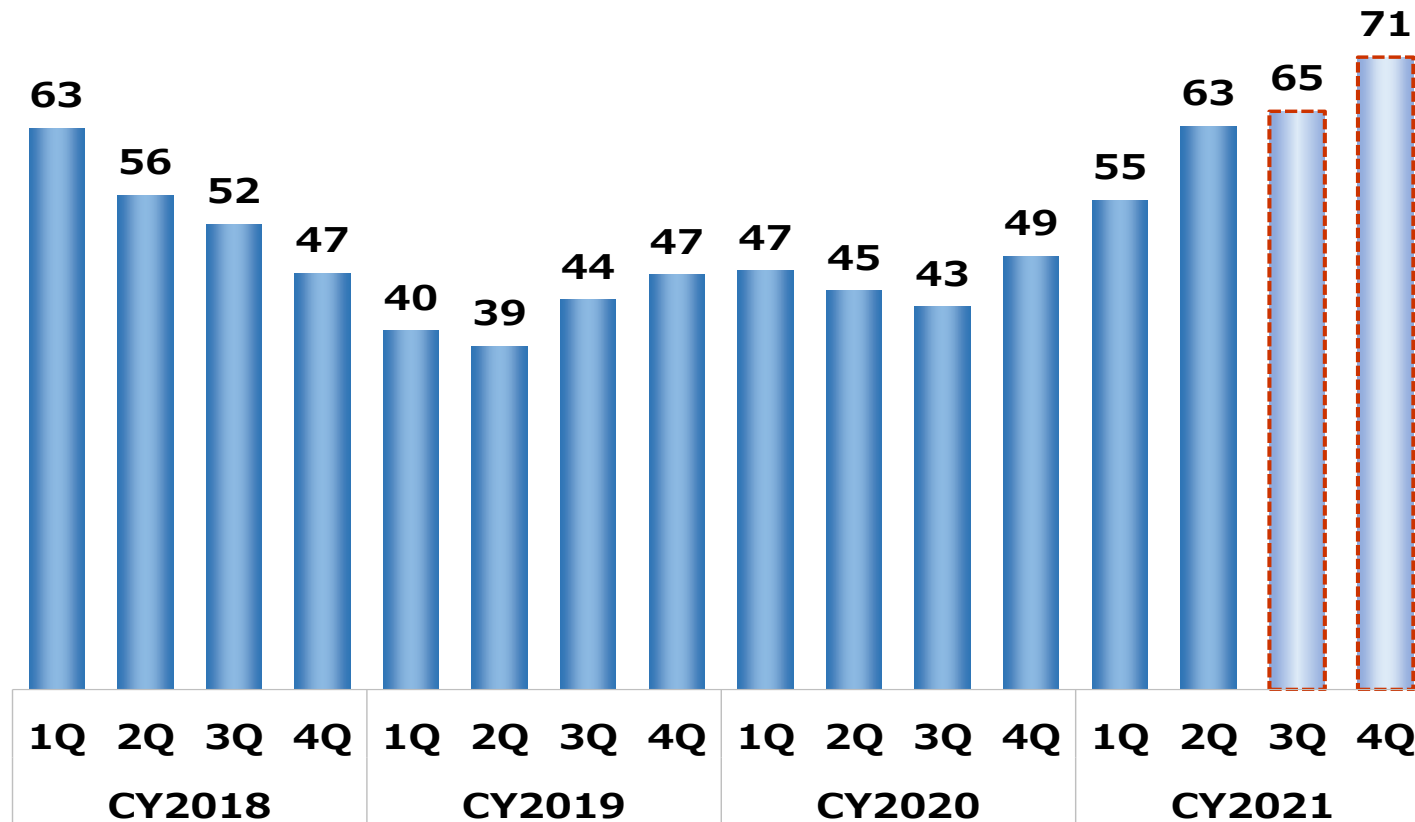
億円



○ 需要見込みに対応し、投資額は増加、償却額は同水準を継続

連結売上高予想

億円



- 車載向けやフラッシュメモリコントローラなどロジック製品の受託量増加
- 一段と強くなる需要の中で成長分野に対する設備投資の実施

トピックス

トピックス

- ① **主要国間の貿易摩擦に起因する
サプライ・チェーン変化の影響は限定的**
 - 下期以降は安定化の見通し

- ② **コロナウイルス感染拡大による生産調整の局面は終了**
 - 半導体不足の影響もあり、更に需要は強いが、
今後は、需要のオーバーシュートによる在庫リスクに留意

- ③ **中国子会社は一旦ペンディング**
 - 事業環境の見極めには、なお時間が必要
 - 当面は、既存拠点における顧客ニーズへの対応に注力

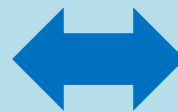
- ④ **PTIテスト事業の移管は完了**
 - オペレーション、顧客リレーションともに定着し、業績貢献

株主還元について

- **重視するポイント**
 - **設備投資、財務体質 及び 収益状況のバランス**
 - **配当の継続的な実行**
- **当期についての状況と方針**

堅調な需要と、投資設備の寄与

売上高の拡大と
利益水準の改善

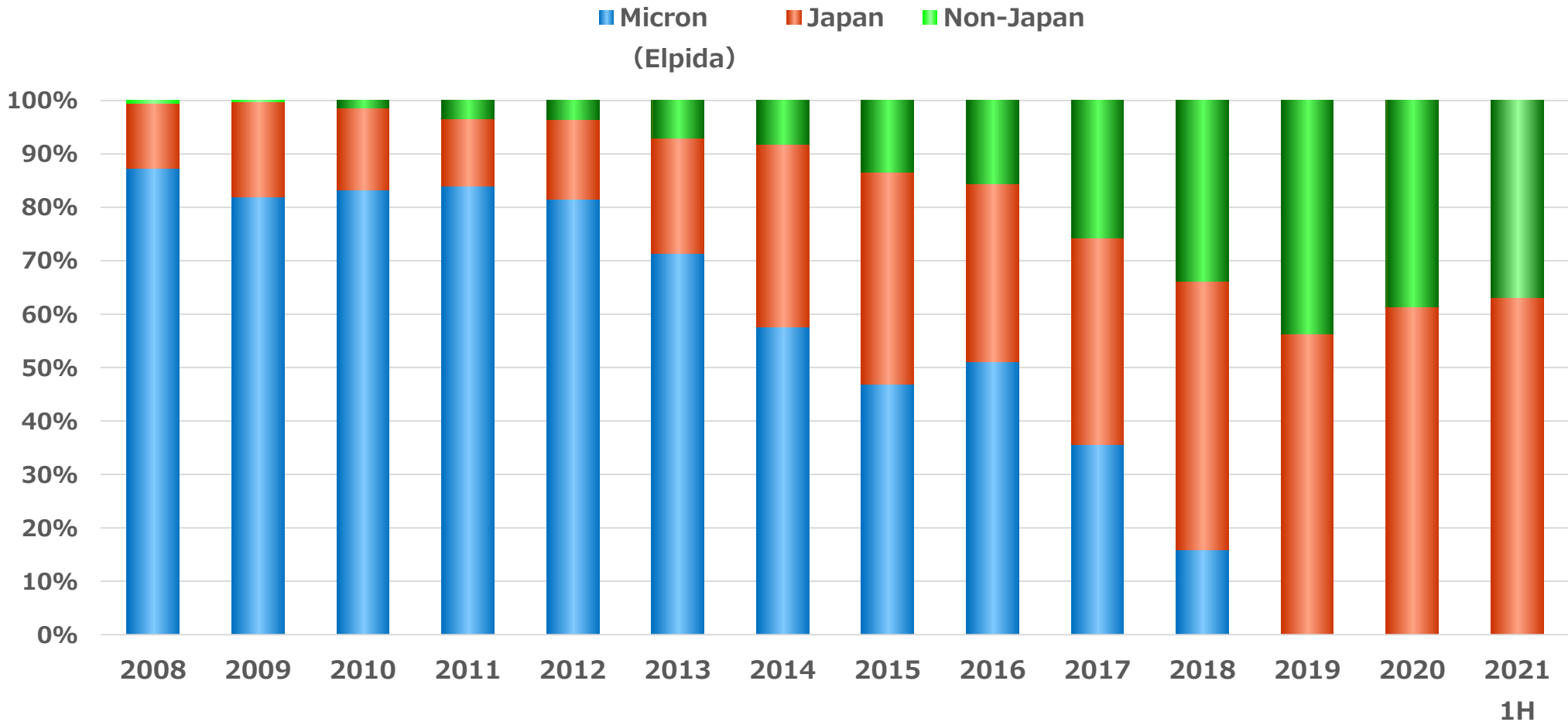


事業環境の変動リスクと
配当の継続性への留意

➡ **引き続き、当期の業績の確保と、基盤強化に注力し、次年度以降の業績が一定程度見込めた段階で、利益配当について検討。**

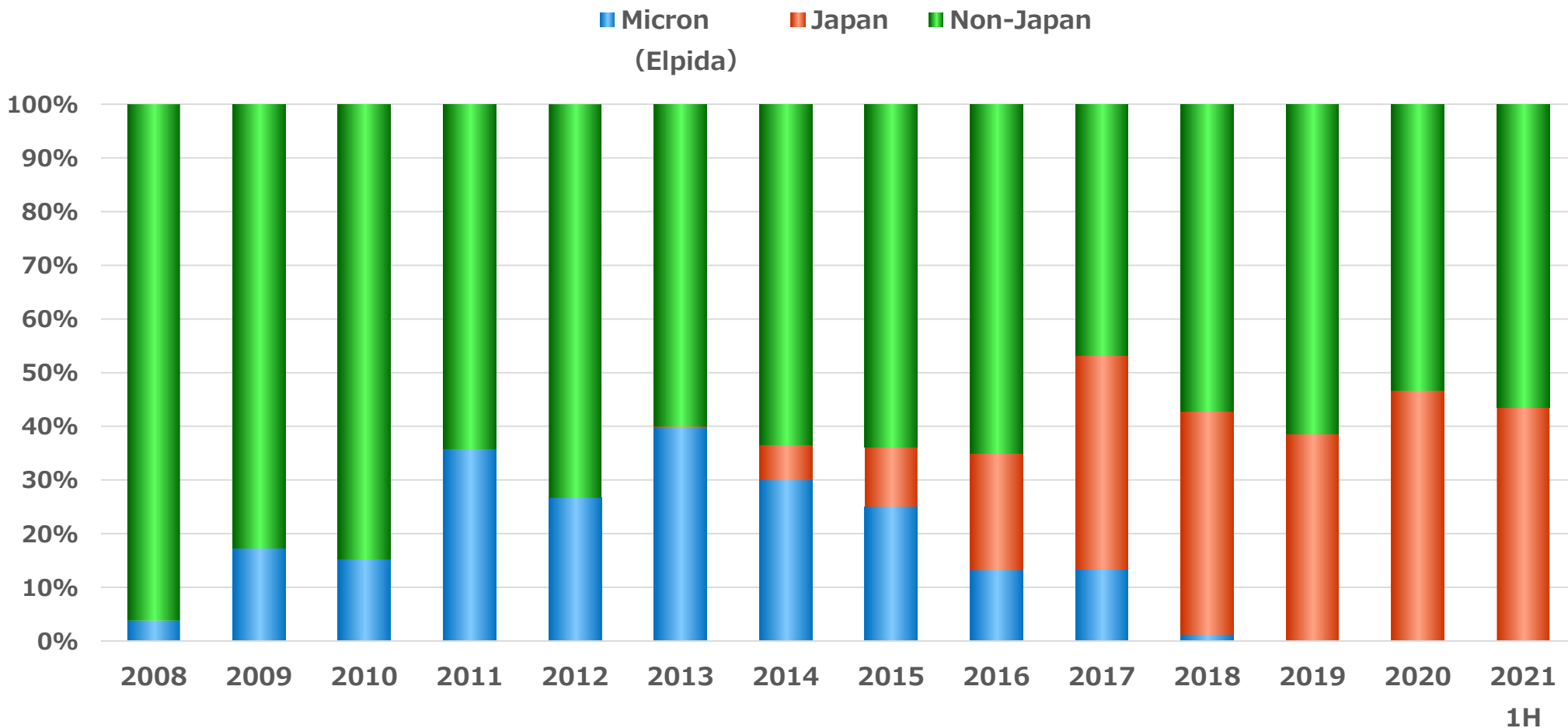
Appendix

顧客国別 売上高構成比 (TPJ & TPA)



TPJ: テラプローブ
TPA: テラプローブ会津

顧客国別 売上高構成比 (TPW)



TPW: TeraPower Technology Inc.

アプリケーション別売上高推移

(億円)

	2016	2017	2018	2019	2020	2021 1H
産業・医療	6.0	6.8	9.3	10.3	12.3	9.9
車載	28.8	52.3	73.5	52.5	68.8	44.4
コンシューマ	153.1	119.4	129.0	98.4	98.7	62.3
他			5.7	7.8	3.6	1.5
計	187.9	178.5	217.4	169.1	183.4	118.1

	2016	2017	2018	2019	2020	2021 1H
産業・医療	3%	4%	4%	6%	7%	8%
車載	15%	29%	34%	31%	38%	38%
コンシューマ	81%	67%	59%	58%	54%	53%
他			3%	5%	2%	1%
計	100%	100%	100%	100%	100%	100%

本資料における注意事項等

- 本資料は投資家の参考に資するよう、株式会社テラプローブ（以下、弊社）の現状を理解していただくために作成したものです。
- 本資料の一部には監査法人の監査やレビューの対象外の内容が含まれております。
- 本資料に記載された内容は、発表時点において一般に認識されている経済社会等の情勢及び弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 投資を行う際は、必ず弊社が開示している資料をご覧ください。投資家ご自身の判断において行っていただきますよう、お願い致します。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

株式会社テラプローブ 財務部

TEL: 045-476-5711

E-mail: ir@teraprobe.com

URL <https://www.teraprobe.com/>